

メトロポリタン

★練馬区 小学4年・工藤雲備さん★
「日本代表のフォワード」



ぼくのゆめは、サッカー選手になることです。ぼくが好きな

ポジションは、フォワードです。日本代表になったら、長友選手みたいなすごい選手になって、有名になりたいです。しあいに出たら、すごいシュートやすごいドリブルなどをや

わ

スカイツリーと「ものづくり」



お 妹尾 けんいちろう 堅一郎氏 NPO法人産学連携推進機構理事長

1953年生まれ。一橋大学大学院客員教授、内閣知財戦略本部専門調査会長。研究分野はビジネスモデル論など

第三はいわゆる製造業である。日本の年間国内総生産(GDP)約五百兆円のうち製造業は二割程度で、約五百億円のスカイツリーを毎年二千塔ずつ造るのに等しい規模だ。

第一は工芸家や職人の腕、個人の「匠の技」による工芸品である。文化の洗練度を実感させる素晴らしいものは日本全国各地に息づいている。第二はスカイツリーのようなハイテクの固まり、「一品生産の超巨大工芸品」の類である。確かにスカイツリーに使われた技術は素晴らしい。「工(テクノロジー)と芸(アート)の融合で新興国が自国だけでつくることが到底できない。設計(日建設計)や施工(大林組)をはじめ、多くの中小企業が担う設備類も世界に誇るレベルである。

スカイツリーは日本の技術の頂点を集めたもの。日本の「ものづくり力」には目を見張る。ただしスカイツリーをして「ものづくり日本」が健在とか、日本の経済活性化と雇用の確保につながるという議論はいかなるものか。「ものづくり」は三つに分けられる。

OPINION

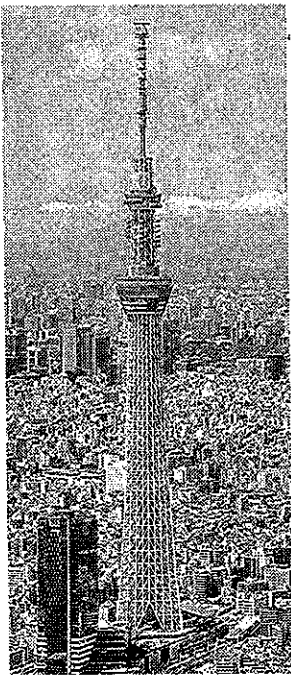
ビジネスモデルに知恵絞って

だんろん



高度成長期から日本経済を先導していた製造業、その代表格の電機産業の超大手ソニーやパナソニック、シャープは昨年度、合わせて一兆数千億円の赤字となった。スカイツリー三十塔分が赤字で吹き飛んだに等しい。かつて世界の家電を制していた日本の面影はもつない。自動車産業も例外ではない。トヨタの国内生産も赤字と化したと聞く。また、製造業のピラミッドを構成していた中小企業群もコスト競争に勝てず、新興国にその座を譲りつつある。

スカイツリー足元から先端部分まで日本企業の数多く支えられている。最も重要度が高い、塔のど真ん中にある世界初の「心柱」は日建設計が設計し大林組が施工。地震の際はツリー本体と分離して全体の揺れを抑える。ヒントは日本古来の木造建築「五重塔」。天望デッキまで約50秒で到着するエレベーターは東芝エレベーター製。風に強い地デジ放送アンテナは日立電線。風による共振の動きを利用する塔上部の制振装置は三菱重工の子会社が納入した。



日本企業の最新技術に数多く支えられている東京スカイツリー(東京都墨田区)。(本社へリ)おおじろ「から」

日本の多くのものづくり産業製造業は確かな技術を持っている。科学技術力はオリンピックのメダリストからフアイナリスト(決勝戦出場者)のレベルだ。技術力を示す一つの指標である特許出願件数は昨年中国に抜かれたとはいえまだ銅メダル。しかしながら日本の産業競争力は、かつて一九八〇年代に金メダルをとった面影すらない。現在は二十五位から三十位の間に停滞している。

この科学技術力と産業競争力の差が意味するのは科学技術力を産業や事業に生かせる工夫をする以外にない。定石を学び、定石を超える。『三国志』の昔からそれが常道。いへら武将(技術)が強くても軍師(戦略)がいなければ勝てない。劉備は三顧の礼で孔明を迎えた。自らのビジネスモデルという作戦に知恵を絞るべき時である。

読者の皆様の二意見を寄っています。首都圏編集部「談話談話」係へ、
フックス(Sydney, Australia) Eメール: fukushima@kyorin-p.co.jp